

Model Course 11

四郷、堀越から光滝寺へ

- 【葛城第十二経塚(護摩のたわ朴留)】
- 【葛城第十三経塚(向かい多和)】
- 【葛城第十四経塚(光滝寺仏徳多和)】

串柿の里、四郷周辺をそぞろ歩き、光滝寺へと下る

晩秋に串柿の暖簾が集落を朱に染めることで知られる四郷。その集落のひとつ神野周辺は、2つの経塚はじめ、葛城修験の見どころが集まっている。それらをめぐったあと、第十四経塚とされる光滝寺を訪れる。

堀畑バス停を降り、堀越竈観音への道を分け、橋を渡って、堂川沿いにさかのぼる。道標にしたがい道を外れ、文蔵の滝へ。滝を正面に見るにはロープを伝うが、無理は禁物だ。観瀑したら、神野へ大きく折り返しながら登っていく。集落の中ほどに国の有形登録文化財の神野阿弥陀堂があり、村はずれに正楽寺と七大龍王社(モデルコース⑩参照)の遥拝所がある。神野阿弥陀堂と正楽寺は江戸末期に周辺をめぐった聖護院宮ゆかりの地だ。

神野阿弥陀堂前を北へ進むと、ベンチのある近畿自然歩道の一端に着く。ここで右に折れるが、自然歩道ではなく畑山経由で尾根を行く方が早い。自然歩道は山腹を行く未舗装林道でカーブも多く、葛城第十二経塚へは峠に出たところから折り返さなくてはならない。

経塚と自然歩道の折り返し点から少し行くと林道が二股に分かれる。その二股の間の尾根に道が続いており、たどっていくと東ノ燈明岳の山頂で、役行者の祠がある。方向を90度西に変えて下っていくと展望台があり、その下で自然歩道と合流する。少し進んで、道標にしたがって、堀越竈観音へ。竈観音からは、駐車場の東に延びる道を進んで、葛城第十三経塚の向い多和を目指す。道路を外れるが道標があるのでわかるだろう。経塚から道路に戻り、三叉路となった蔵王峠へ。葛城蔵王権現社は和歌山側に回り込んだところにある。蔵王峠に戻り、河内長野(滝畑)方面に延々と下り、光滝寺を経て、滝畑ダムのキャンプ場に至り、バス停を目指す。

歩行距離 ◆ 約16km
歩行時間 ◆ 4時間20分

体力レベル ★★
登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



串柿の里、四郷の集落、神野は修験道に縁が深い



葛城蔵王権現社のある蔵王峠から滝畑に下る



東ノ燈明岳の南側はよく整備されて展望台もある



第十四経塚のひとつとされる光滝寺に参る

アクセス



アドバイス

神野周辺は特にややこしいところはないが、2つの経塚の場所が道を外れるので少しわかりにくい。滝畑ダムから光滝寺の往復コースと、堀越竈観音からのラウンドコースに分割も可能。乗合タクシーは平日のみの運行で要予約。行きは笠田駅9時11分発、帰りも利用するなら堀畑バス停13時56分が最終便。土日祝はタクシーを利用する。